

弊社の「動的テストツール DT10 Automotive Edition」をご利用いただきありがとうございます。

このリリースには、機能改善、製品構成の一部変更、問題点の修正が含まれています。

▼ 既知の不具合修正 : Ver.12.0.1 → Ver.12.0.2

- ・ヘルプの誤字脱字を修正しました。
- ・プロパティエディタの周期時間設定を表示した状態で、テストレポートや解析レポートのウィンドウから時間単位を変更したとき、プロパティエディタの単位表示が更新されない問題を修正しました。
- ・DT10 の環境設定で「カバレッジ情報のプロファイル自動引き継ぎ」を有効にして、DTPlanner ウィンドウを開いた状態で DT10 のレポートデータの解析を実行したとき、通過実績有りとなるステップの DTPlanner 側のアイコンが更新されない問題を修正しました。
- ・同名関数が定義されているソースファイルに対して「FuncIn テストポイントを関数先頭行に必ず挿入する」の指定を有効にして、テストポイント追加挿入を実行したとき、同名関数の一部のテストポイントのステップ番号が重複してしまう問題を修正しました。
- ・文字コードが UTF16 のソースファイルに対して、「指定位置へのテストポイント挿入」を実行すると「作業ファイルの作成に失敗しました」のエラーが発生してしまう問題を修正しました。
- ・テストポイント自動挿入で、ソースコードの先頭行に何等かの問題がありエラーを検出した場合、全て「パターンマッチングエラー」と表示してしまう問題を修正しました。
- ・テストポイント自動挿入設定で、「読み取り属性を解除する」を有効にしても、「指定位置へのテストポイント挿入」のみを実行したときにエラーになってしまう問題を修正しました。
- ・ソースコードの文字コードとして、コードページを指定した状態で、「指定位置へのテストポイント挿入」を実行するとエラーが発生する問題を修正しました。
- ・DTCmd で指定する接続設定ファイルの書式で CAN の通信速度指定タグ名がヘルプと異なる問題を修正しました。
- ・pbprj プロジェクトファイルを DT10 で開いたとき、外部で更新されたファイルがあるときに表示されるテストポイント更新の確認ダイアログでプロジェクトの復元を選択できてしまう問題を修正しました。
- ・ASIL-D 設定のプロジェクトを DT10 で開いてレポートデータを解析し、MC/DC 詳細レポートを表示すると、Result 欄が全て False で表示されてしまう問題を修正しました。
- ・DT-ProjectBuilder のコンポーネントビューに表示される「関数呼び出し(FuncCall)総数」の数値が実際の FuncCall テストポイントより 1 多く表示される問題を修正しました。
- ・DT-ProjectBuilder で自動挿入設定の「return 文の整形」が有効のときで、テストポイント自動挿入の実行により return 文の整形が実施されたソースファイルの関数位置へのジャンプが正しく動作しない問題を修正しました。
- ・ASIL-D 設定のプロジェクトファイルで MC/DC のコンディション毎の通過実績が引き継がれない問題を修正しました。
- ・コールカバレッジ(Callee)で一部の関数が計算対象にならない問題を修正しました。
- ・登録ソースが外部で更新されているプロジェクトを DT-ProjectBuilder で開いたとき、「テストポイント更新の確認」ダイアログで「テストポイントを新規挿入する」を選択すると、ストラクチャツリーが複数表示されてしまう問題を修正しました。
- ・ソースコードの記述形式によって、一部のステートメントがテストポイントに割りあてられない問題を修正しました。
- ・DTCmd -newin で関数を指定した場合、指定とは異なる関数にテストポイントが挿入されてしまう問題を修正しました。

過去の変更点

- ◆ [DT10 Automotive Edition Ver.12.0.1 リリースにおける変更点](#)
- ◆ [DT10 Automotive Edition Ver.12.0.0 リリースにおける変更点](#)

DT10 Automotive Edition Ver.12.0.1 における変更点

▼ 既知の不具合修正 : Ver.12.0.0 → Ver.12.0.1

- ・ レポート表示フィルタ設定のアナログ入力値設定で電圧値を正しく入力できない問題を修正しました。
- ・ DT10 実行中に DT-ProjectBuilder からソースファイルプロパティを変更できてしまう問題を修正しました。
- ・ 手動挿入したテストポイントの削除機能を実行すると、ソースファイル中のテストポイントマクロが不正な文字列になってしまう問題を修正しました。
- ・ DT10 で出力される ReportInfo ファイルの Gallee カバレッジ値が Caller カバレッジ値になっている問題を修正しました。
- ・ マルチウェーブスコープのプレイバックのオプション設定で、電圧値の停止条件を正しく入力できない問題を修正しました。
- ・ テストポイント自動挿入設定で指定した型定義ファイルの読み込みでエラーになってしまう問題を修正しました。
- ・ テストポイント自動挿入設定で include パスとして環境変数を指定しても正しく参照されない問題を修正しました。
- ・ レポートデータリスト上でのコンテキストメニュー“Change the A-Ch2's unit”のプロンプトメッセージが正しくない問題を修正しました。(英語版)
- ・ ソースコードの構造解析でメモリが不足したときにフリーズしてしまう問題を修正しました。
- ・ try-catch の処理が記述された関数でブランチカバレッジ解析がエラーになってしまう問題を修正しました。
- ・ フォルダビューから選択した関数へのテストポイント挿入を実行すると「引数が足りません」というメッセージが出る場合がある問題を修正しました。
- ・ テストポイントの追加挿入を実行すると、既存のテストポイントマクロが削除されてしまう問題を修正しました。
- ・ 複数レポートデータの合算解析を実行すると、過去のレポートデータを参照できなくなってしまう場合がある問題を修正しました。
- ・ DT-ProjectBuilder を実行中の状態で、DT10 からプロジェクト新規作成を実行しようとする、空のメッセージウインドウが表示される場合がある問題を修正しました。(英語版)
- ・ DT-ProjectBuilder でソースファイルプロパティから自動挿入設定の警告レベルの設定を変更すると、<プロジェクトから継承>の状態に戻せなくなる問題を修正しました。
- ・ レポート取得後にトータルカバレッジを表示すると、最新のレポートを取得したプロファイルが参照できなくなってしまう場合がある問題を修正しました。
- ・ レポート表示フィルタ設定でステップや関数が設定されている状態で、DT-ProjectBuilder でソースファイル復元を実行すると強制終了してしまう問題を修正しました。
- ・ DT-ProjectBuilder のプロジェクト設定／ソースコードプロパティを変更して設定ダイアログの「確定して新規挿入」を実行すると、トータルカバレッジ環境が作成されない問題を修正しました。
- ・ エクスプローラでのアプリケーションアイコンの表示が、通常版の DT10 と同じになっている問題を修正しました。
- ・ ヘルプの誤字脱字を修正しました。
- ・ レポート表示フィルタ設定で関数が設定されているプロジェクトで、ソースを外部エディタで更新して、DT10 でテストポイント情報を更新(マージ)すると、「引数が正しくありません」と表示される問題を修正しました。

- ・ 外部エディタでソースを更新し DT-ProjectBuilder でプロジェクト開いたときに、変更があった関数のトータルカバレッジがクリアされない場合があるという問題を修正しました。
- ・ 不正なレポートデータが含まれる状態で複数レポートデータの合算解析を実行したとき、強制終了する問題を修正しました。
- ・ ソースファイルの文字コードを自動判別できない場合、文字コードを指定してもソースコードビューの表示が文字化けしてしまう場合がある問題を修正しました。
- ・ レポート表示フィルタに設定しているモジュールの親モジュールを削除すると強制終了する場合がある問題を修正しました。
- ・ DT10 で ASIL-D 設定のプロジェクトにて解析結果の自動引き継ぎモードを無効にしているとき、ステートメントカバレッジのみ過去の解析結果を引き継いでしまう問題を修正しました。

▼ Ver.12.0.1リリース時点の既知の不具合

- ・ ソースコードの文字コードにコードページを指定した状態で、DT10 で指定位置へのテストポイント挿入を実行すると警告メッセージが表示される。
- ・ 自動挿入設定の警告レベルの設定で「読み取り属性を解除する」を True に設定しても、DT10 で指定位置へのテストポイント挿入を実行するとエラーが発生する場合がある。
- ・ DT-ProjectBuilder でテストポイント自動挿入を実行したとき、先頭行で警告またはエラーが発生した場合のみ「パターンマッチングエラー」として表示される。
- ・ UTF16 の文字コードのソースファイルで、自動挿入設定の「FuncIn テストポイントを関数先頭行に必ず挿入する」を有効にして追加挿入を実行すると、同じテストポイントが複数挿入される場合がある。
- ・ 登録ソースファイルが外部エディタ等で更新された場合、ソースコードの復元を指定せずにプロジェクトの復元を選択すると、復元処理後に再度処理選択ダイアログが表示されてしまう。
- ・ DT10 で「選択した関数へのテストポイント追加挿入」を実行すると、テストポイントが挿入されなかった関数の情報が削除される場合がある。
- ・ 表示文字列の誤字や単語の一部が見切れている箇所がある。(英語版)

DT10 Automotive Edition Ver.12.0.0 における変更点

▼ 機能改善 : Ver.11.1.0 → Ver.12.0.0

- ・ Windows10 に対応しました。
- ・ ソースコード整形を伴うテストポイント自動挿入に対応し、プロジェクト設定項目を追加しました。
- ・ C#ソースへのテストポイント自動挿入において、yield return の前への FuncOut 挿入に対応しました。
- ・ CAN 接続において、アプリケーションフィルタの仕様を改善しました。
- ・ Ethernet(トレーサ無し)接続において、CAN 接続と同等のアプリケーションフィルタ機能を追加しました。
- ・ Ethernet(トレーサ無し)接続において、エポックタイムによる経過時間取得に対応しました。
- ・ アナログボックスからの入力値を電流の単位で表示する電流測定モードを追加しました。
- ・ DTDiff において、新規追加となったソースファイルへのテストポイント挿入に対応しました。
- ・ DTPlanner において、アイテムダブルクリックによる DT10 表示の同期に対応しました。
- ・ テストレポートリストの右クリックメニューにエクスポート項目を追加しました。
- ・ 変数値出力ポイントをレポート取得開始・停止ポイントに設定できるように対応しました。
- ・ MC/DC に対応した自動挿入 LIB を操作できる GUI に対応しました。
- ・ ソースコード構造解析機能を追加しました。
- ・ MC/DC レポート機能を追加しました。
- ・ 関数カバレッジレポート機能を追加しました。
- ・ トータルカバレッジ機能を追加しました。
- ・ 解析情報のテキスト出力機能を追加しました。
- ・ DT-ProjectBuilder と DT10 の起動排他制御を解除するように対応しました。
- ・ エディション名の表示を変更しました。
- ・ サブツールが DT-ProjectBuilder アプリで作成したプロジェクトファイル(.pbprj)に対応しました。
- ・ アプリケーションアイコン、バージョン情報画像を専用のものに更新しました。
- ・ 日本語版ヘルプを更新しました。
- ・ アプリケーションの英語版に対応しました。
- ・ 英語版ヘルプを追加しました。
- ・ DT-ProjectBuilder と DT10 にプラグインメニューを追加しました。
- ・ 自動引き継ぎ指定のデフォルト値を更新しました。

▼ 既知の不具合修正 : Ver.11.1.0 → Ver.12.0.0

- ・ DTCmd において、テストポイント挿入時にキャンセルポイントが発生すると強制終了する可能性がある問題を修正しました。
- ・ 関数トレースにおいて、イベント ID をタスクとして解析するとき、ネストが正しくない問題を修正しました。
- ・ レポートデータ読み込みでエラーが発生した場合にも、レポートが開いた状態になる問題を修正しました。
- ・ アナログデータ収集時、表示設定した場合にしか MWS でアナログデータを表示できない問題を修正しました。
- ・ ファイル書き出しレポートのインポート機能において、エディション制限のメッセージが表示されない問題を修正しました。
- ・ テスト報告書内の ResultList ダイアログにおいて、OK、NG 判定が保持されない問題を修正しました。
- ・ 派生 New/Delete 等で明示的なクラス記述があった場合、テストポイント挿入時、エラーになることがある問題を修正しました。
- ・ 実測値が 0 の時の Typ/Max 余裕度の表示が不定である問題を修正しました。
- ・ DTPlanner を開いた状態で DT10 側から通過実績を変更した時、開き直すまで DTPlanner に反映されない問題を修正しました。
- ・ 英語版アプリケーションにおいて、同じ意味で異なる単語を使用している表記ゆれの箇所を統一しました。

▼ Ver.12.0.0リリース時点の既知の不具合

- ・ 自動挿入設定で指定した型定義ファイルを読み込めない。
- ・ 自動挿入設定の Include パスの指定に環境変数を指定しても認識されない。
- ・ PB プロジェクトに対して DT10 で手動テストポイントの一括削除を実行すると、削除されたテストポイント以降の通常のテストポイントのステップ引数が不正になる。
- ・ ReportInfo ファイルの周期時間の Min と Ave が正しくない。
- ・ ReportInfo ファイルの Callee カバレッジ結果が不正になる。
- ・ レポート表示フィルタのアナログ入力値によるフィルタで入力した値が正しく設定されない。
- ・ ループ回数レポートにおいて変数値書き換えが実行された関数の色表示が正しくない。
- ・ リアルタイムカバレッジ中の Callee カバレッジレポートで Error 表示が行われない。
- ・ 実行時間詳細リストで Write ステータスが表示されない。
- ・ MWS の PlayBack のオプションで、AD 入力停止条件設定値が保存されない。
- ・ DT10AutomotiveEdition ヘルプの誤字、項目の誤りがある。
- ・ 英語版 DT10 のステータスバーに誤字がある。
- ・ 英語版 DT10 のツールバーに含まれるボタン画像が不正になる。
- ・ 英語版 DT10Automotive Edition ヘルプ、DT-ProjectBuilder ヘルプの誤字、書式の誤りがある。